



親子でなにわ新発見!

おとなと子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。

今回ご紹介するのは「大阪くらしの今昔館」です。

まるで映画の中に入ってしまったような...の巻

春です!さあ、お出かけしましょう!ファミリーでおもいきり楽しめて、お勉強もできてしまう、というお得情報をお届けします。

今回は『大阪くらしの今昔館』におじゃましました。ここは、ビルの8階と9階にあるのに、映画の一場面の中に入ってしまったような気持ちになれる博物館です。まずは9階へ。そこは江戸時代のなにわの町を再現した一画となっています。“町家衆”と呼ばれるボランティアの方が案内してくれる「町家ツアー」があるというので参加してきました。子ども向けのツアーなので、子どもたちに囲まれて、集合場所で待ちます。空(ビルの天井なのですが)が、だんだん暗くなり、雷が鳴ってきます。「こわい」という声が出るほどリアルです。やがて夕焼け空になり、町に灯りがともるころ、ツアー



が始まります。まずは木戸をくぐっていきます。江戸時代、町ごとに木戸がもうけられていた、という説明を聞きます。家の鍵や建具に実際に触れ、風呂屋で湯船に入ったり、台所ではまきでご飯を炊く方法を聞きます。現代ではなかなか経験のできないことばかりです。



おじゃみ(お手玉)を作るコーナーがあり、ここでもボランティアさんが活躍。針を持ったことがなくてもお手伝いしてもらえるので大丈夫です。

また、紙しばいでは、大阪の昔話をもとにした手作りのお話を聞きます。クイズに答えると、お土産がもらえ、お得です。



昔のおもちゃで遊べるコーナーではみんなで遊びましょう。



8階では、明治以降の大阪の町の様子を模型や映像で知ることができます。今では使われなくなった電化製品は、親子で「これは何かな?」とクイズにして楽しむという方法もありますね。

春といっても3月はまだ肌寒い日もあります。『大阪くらしの今昔館』はビルの中であり、アクセスのいいところです。知識を得られることを目的とした施設ですが、なんといっても子どもからお年寄りまで、幅広い年代がいっしょに楽しめるところがいいです。特に週末、祝日などはイベントがたくさんあります。季節にちなんだイベント、日本の伝統的な芸術のイベントは見逃せませんよ。(写真・文 梅木智子)

町家衆イベント

町家衆による町家ツアー

日時 日・祝日 13:10 ~ 14:00
場所 9階 木戸門(集場場所)

おじゃみ(お手玉)を作ってみよう

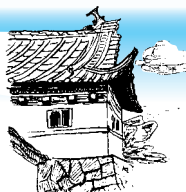
日時 毎月第2日曜 14:00 ~ 16:00頃
場所 9階 人形屋

紙しばい

日時 毎週日曜 14:30 ~ 15:00
場所 8階 ロトンダ

大阪くらしの今昔館(住まいのミュージアム)

URL <http://house.sumai.city.osaka.jp/museum/>
場所 〒530-0041 北区天神橋6-4-20
電話 6242-1170 FAX 6354-3002
開館 10:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)
休館 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(日・月曜を除く)、
第3月曜(祝・休日の場合はその週の水曜)
4/14(火)~21(火)臨時休館
費用 大人600円、高大生300円
中学生以下、障害者手帳持参者、
市内在住65歳以上の人は無料(要証明)
交通 地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」、JR「天満」



おおさか歴史探訪 ②

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

泉布観 - わが国最初の本格的な洋風建築 -

泉布観は明治4年、造幣寮(現在の造幣局)の応接所として建てられました。明治維新とともにわが国は近代国家に生まれ変わるために、外国人の技術者や研究者を雇い入れます。泉布観はこのとき建築技術者として採用されたイギリス人のウォートルスによって設計されたもので、わが国の洋風建築のスタートを飾る建物といえます。

周囲にベランダがあること、窓がフランス窓(床面から立ち上がり扉のように出入りのできるもの)であること、その外側に鎧戸が付いていることなどが特徴です。これらは高温多湿の気候にあわせるために考案された工夫です。それまでのわが国にはなかった新しい建築であったため、レンガやタイル、暖炉やシャンデリアなど、手に入らなかったものがたくさんありました。多くは外国から輸入しましたが、タイルは数が足りなかったため代わりにペンキでその模様を書いているところもあります。レンガは多くが国内の職人がつくったため、後のものと比べると「焼きがあまり」強度は十分ではありません。そのほかにも、明治初年ならではの特徴がたくさん見られます。

大川沿いの桜も咲き始めていると思われる春の日の一、ぜひ一般公開される泉布観の見学においでください(詳細はP23参照)。(文:教育委員会文化財保護担当 / 写真提供:ゆとりとみどり振興局)

